

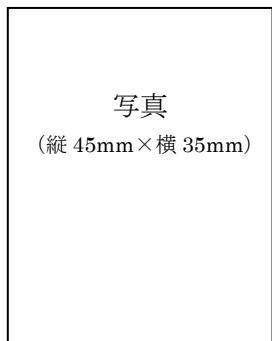
(様式第1)

実務修習受講申請書

平成 年 月 日

日本弁理士会会长

殿



フリガナ 氏名	(印)		男・女	
生年月日	西暦	年	月	日
住 所	〒			
勤務先名				
所 在 地	〒			
連絡先電話番号				
連絡先ファックス				
メールアドレス				

修習事務規程第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり実務修習の受講を申請します。

記

1 受講希望コース

第1希望

第2希望

第3希望

2 特許課目の選択 (化学 ・ 機械 ・ 電気)

3 実務修習の課程の免除 (申請する ・ 申請しない)

4 受講資格

(1) 弁理士試験合格 (合格年度 西暦 _____ 年度) ・ (合格証書番号 _____)

(2) 弁護士有資格 (司法修習終了年度 西暦 _____ 年度) ・

(司法修習終了証書番号又は弁護士登録番号 _____)

(3) 特許庁審判官・審査官経験者 (従事した通算期間 _____ 年)

5 実務修習の受講料を振込んだ日 (西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日)

6 発送物の送付先 (住所 ・ 勤務先)

7 添付書類

・受講資格を証明する書面

・払込票の写し

・写真 (1 枚貼付、 1 枚添付)

備考：

- 1 この受講申請書は、配達証明郵便にて日本弁理士会会长宛に送付すること。
- 2 「連絡先電話番号」の欄については、勤務先や携帯電話等の昼間に連絡可能な番号を記入すること。
- 3 「住所」の欄は郵便物が必ず届くように正確に記載すること（アパート・マンション名、同居の場合は～方等も記載すること）。
- 4 「メールアドレス」の欄には、携帯電話のメールアドレスを記載してはならない。
- 5 写真は、申請書提出前3ヶ月以内に撮影した、脱帽、正面に向、上半身、無背景の縦45ミリメートル、横35ミリメートルのものを2枚用意し、裏面に氏名を記載し、1枚は全面に糊を付け、「写真」の欄にしっかりと貼付し、1枚は受講申請書に添付すること。
- 6 受講希望コースには、開催地及び曜日を記入すること。
- 7 添付書類には、「3 受講資格」を証する書類及び銀行口座に受講料を振込みしたことを証する書面（振込票の写し等）を添付すること。
- 8 実務修習の課程の免除の申請をする場合には、弁理士法施行規則様式第1の「実務修習の一部免除申請書」を添付すること。